

タイトル	昆虫の森整備と昆虫生息環境の創出	
概要	クヌギ等の樹木の環状剥皮により樹液の浸出を促進。また、伐採木を集積放置すること等により昆虫の生息環境に適した里山林を創出する。	
管理方法・技術的視点	<p>昆虫の誘致や発生を目的とした環境整備を実施する。</p> <p>①伐採木の集積放置を行い、昆虫誘引を図る(コナラ、サクラ、ネムノキ、ミズキ、アカメガシワ)。</p> <p>②廃菌床を山積みにして設置する(廃菌床を業者から譲渡、敷地内に山積みすることでカブトムシの幼虫が発生)。</p> <p>③樹木の環状剥皮(クヌギ、コナラ、アカメガシワに実施。特にクヌギでは100パーセントの樹液流出があり、昆虫が飛来。)</p>	
備考	<p>「昆虫園研究」2001.p. 48～52を参照。</p> <p>ぐんま昆虫の森には里山を復元した45haのフィールドが存在。人間の暮らしにより手を加え管理されてきた里山環境が昆虫たち生き物にとっても生息に適していたという観点から体験活動に取り組んでいる。</p>	<p>生き物の視点から里山空間の復元を試みて創出されたぐんま昆虫の森の園内フィールド</p> 
場所・主体	群馬県 ぐんま昆虫の森	
URL等	http://www.giw.pref.gunma.jp/	